

## 第4回

# 一茶双樹記念館 俳句大会

## 作品募集

令和7年度 4月～3月 毎月受付



俳人 小林一茶が生涯に50回以上も訪れた流山。  
みりん醸造家 秋元三左衛門(俳号 双樹)を慕い訪れた地として「一茶双樹記念館」  
が誕生しました。俳句に造詣のあるこの地で開催する『一茶双樹記念館 俳句大会』  
の作品を募集します。

◇応募 投句締切…毎月15日必着 (3月16日以降の投句は4月15日締めとなります)

当期雑詠(毎月兼題なし)

(とうきざつえい：その季節の季語を使って自由な題材で読むこと)

※自作で未発表の作品に限ります

※類似・類想句については賞を取り消すことがあります

※二重投句(同一作品及び酷似作品を他へ投句すること)は固くお断りします

### 【毎月選者】

流山俳句協会会長：北川昭久さん 流山俳句協会役員：篠塚雅世さん

◇ 毎月発表

毎月秀逸句10句程度を発表

発表句は次月初めに、

HPでお知らせ一茶双樹記念館にて短冊で掲示

◇ 令和7年度 総合発表

毎月の発表にて選ばれた句から今年度の優秀句・入賞句を選句

■令和8年5月に一茶双樹記念館にて発表・表彰

優秀句については書道家に書いていただいた短冊を記念品として贈呈

### 【選考】

流山俳句協会会長：北川昭久さん、流山俳句協会役員：篠塚雅世さん

東洋大学名誉教授・俳人協会役員

天為・藍生所属 俳句誌パピルス主宰：坂本宮尾さん

◇ 応募用紙・著作権・個人情報取り扱い等

応募は裏面の応募用紙を使用してください。

応募作品・応募用紙は返却しません。

作品発表や掲示の際、作者名(俳号)を掲出します。

受賞作品・秀逸句は、流山市周辺の公共施設、交通機関等に掲示や

作品集として掲載し販売する場合がございます。

令和7年度 4月～3月

# 一茶双樹記念館俳句大会 応募用紙

◎ ご記入の際のご注意

※楷書ではっきりお書きください

※こちらの用紙にて2句応募できます

※ルビが必要な場合のみご記入ください

【俳句記入欄】 二	【俳句記入欄】 一

◎ 応募締切 **毎月15日必着**  
15日が休館日の場合、翌開館日となります

◎ 投句料 無料

◎ 応募 一茶双樹記念館まで

①直接受付窓口にお持ちいただく

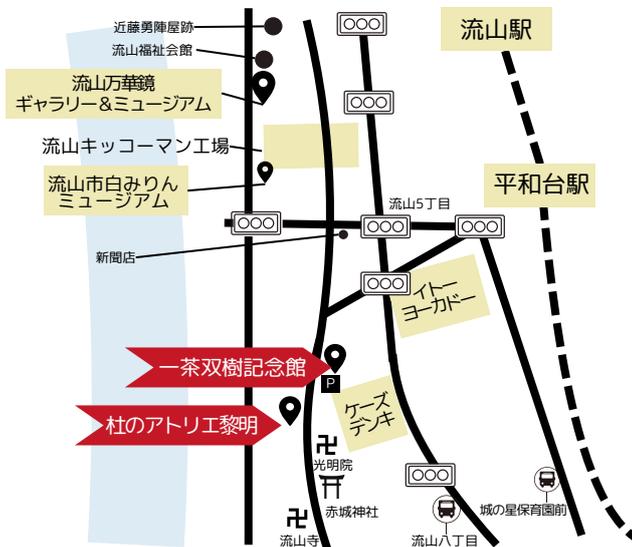
②郵送いただく ※下記宛先に郵送

①②いずれかの方法で応募できます

(注)・メール/FAX/はがきでの応募は無効となります  
・定型封筒に折りたたんで入れてかまいません  
・切手の貼り忘れにご注意ください

俳号	ふりがな
お名前	ふりがな
住所	〒
電話	

※平日に連絡の取れる電話番号



無料駐車場有り

交通のご案内

JR武蔵野線、つくばエクスプレス「南流山」駅より徒歩25分 (バス便あり)  
流鉄流山線「平和台」駅より徒歩8分

※宛先 枠線で切り取り封筒宛名部分に貼付けてご利用ください

〒270-0164

流山市流山6-670-1

一茶双樹記念館俳句大会 係